

ひとよし 市議会だより

第127号

2026 / 令和8年2月1日 発行



高校卒業間近、想い出の1ページにと「こたつ舟」

主な内容

P2 12月定例会報告

P2~5 委員会報告

P6~9 一般質問～市政を問う～

P10 議員研修会・意見交換会

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会

人吉市西間下町字永溝7番地1

☎ 0966-22-2111(代)

E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます

URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>



12月定例会報告

令和7年12月第5回定例会は、11月25日から12月16日までの22日間開催されました。

令和7年度 一般会計補正予算 17億5,285万3千円 増額可決 (補正後の総額は256億7,039万4千円)



一般会計補正予算の主なもの

くま川鉄道災害復旧資金貸付金

6億円



放課後児童対策事業

8,520万5千円



企業立地促進(工場等建設)補助金

6,411万3千円



被災文化財復旧支援事業補助金

3,353万9千円

球磨川水系防災・減災ソフト対策事業(避難所受付用タブレット等購入)

127万2千円

大柿地区移転先宅地整備事業(地籍測量業務委託料)

700万円



保育所事務

4,004万4千円



地域密着型サービス拠点等施設整備事業

1,910万円

新たに予算委員会を設置しました

現在の3常任委員会に加えて、全議員で構成する「予算委員会」を新たに設置しました。一般会計予算の歳入・歳出ともに全議員で審査することにより、予算の全容について全議員が情報を共有することができ、審査の充実を図ります。(※ 条例等は、従来どおり3常任委員会で審査を行います。)

委員長：井上 光浩

副委員長：村上 恵一

予算委員会報告

●委員長 井上 光浩 ●副委員長 村上 恵一
●委 員 全議員(議長除く)

●新たな予算委員会を設置

令和7年9月定例会において、委員会条例の一部改正を行い、一般会計予算の歳入歳出とともに「予算委員会」において審査することとなりました。今定例会開会日に、新たな予算委員会が設置され、審査を行いました。

●令和7年度人吉市一般会計補正予算(第5号)を承認

歳入歳出予算の総額にそれぞれ12億1,144万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ251億2,898万8千円とするものです。

・土地売払収入：1,211万9千円の増額

普通財産(旧老人趣味の家跡地残地分200.23m²)の売却収入。

・くま川鉄道災害復旧資金貸付金

本市が構成市町村を代表して、熊本県市町村振興資金の復旧資金を借り入れ、くま川鉄道株式会社に6億円を貸し付けるもの。

・施設開設準備経費助成特別対策事業補助金

地域密着型特別養護老人ホームのナースコール更新及び見守りカメラの導入等の施設整備に伴う1,910万円の補助金。

・被災文化財復旧支援事業補助金

令和2年7月豪雨災害で被災した「堤家住宅災害復旧事業」に対する被災文化財復旧支援事業補助金3,353万9千円の増額補正。

問 補助金決定までの経緯は。

答 令和7年11月に国登録有形文化財(建造物)登録告示を受けたことにより、球磨川流域復興基金の「被災文化財復旧支援事業」を適用して、遡及して補助金を交付する。

・川上哲治記念球場のグラウンド一部改修工事

工法の見直し・変更に伴う705万4千円の増額補正。

問 改修工事箇所と内容は。

答 ファールライン周辺を改修する。段差解消と経年劣化した人工芝の張替え等である。

動画視聴



総務文教委員会報告

●委員長 松村 太 ●副委員長 豊永 貞夫
●委 員 大塚 則男・平田 清吉・西 信八郎

●公の施設の指定管理者の指定について承認

人吉鉄道ミュージアムMOZOCOステーション868の指定管理者に、一般社団法人青井の杜外苑街づくり協会を指定するもの。

問 指定管理者の選定委員会の構成は。

答 条例に規定されており、副市長と各部局長の9名で構成されている。

問 指定管理での修繕に金額の上限はあるのか。

答 原則 20万円以下の修繕は指定管理者の負担となる。原因者の損害については、原因者が負担する。

問 MOZOCOステーション868内の展示物の入れ替えや催し物をするときは、指定管理者が行うのか。また、市でも企画を持ち込めるのか。

答 原則として全ての業務を指定管理者が行う。市が実施したい事業については、必要に応じて協議する。

動画視聴



厚生委員会報告

●委員長 池田 芳隆 ●副委員長 徳川 祐郁
●委 員 井上 光浩・福屋 法晴

●条例案件の4件を承認

・人吉市手数料条例の一部を改正する条例

多機能端末機による証明書等の交付手数料の特例を規定するもので、令和8年3月1日から令和10年2月29日までの2年間、手数料を150円に減額するもの。

問 多機能端末とはどういうものか。

答 コンビニ交付に対応している自治体であれば、全国どこでも証明書の交付が受けられる非常に利便性が高い機械で、市役所1階にも設置してある。

要望 多機能端末機の操作方法や窓口交付との手数料の違いなど、十分に周知してほしい。

・人吉市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる乳児等通園支援制度（こども誰でも通園制度）を実施するための認可基準を定めるもの。

問 こども誰でも通園制度総合システム導入に当たり、事業者等は特別な機器が必要か。

答 事業者等が所有しているパソコンでシステムを利用できる。

問 利用者の自己負担分の支払い方法は。

答 利用者が現金で各園に支払うことになる。

●特別会計補正予算2件(国民健康保険事業・介護保険)を承認

●「人吉球磨准看護学院へのさらなる支援を求める請願」は挙手による採決により、賛成少数で「不採択」

「請願の趣旨は十分に理解できる」とした上で、各項目について、「人吉市行財政健全化計画で補助金を一律10%削減した経緯がある。一部のところだけ変更するのはどうか」、「ふるさと納税の応援メニューは、市民から要望があったからといって増やしていく性質のものではないと考える」、「日本一の医療介護都市ひとよしの文言は、総合計画の中に趣旨として、既に盛り込まれている」などの意見があった。

動画視聴



経済建設委員会報告

●委員長 牛塚 孝浩 ●副委員長 宮崎 保
●委 員 川上 紗智子・村上 恵一・田中 哲

●訴えの提訴について(全4件)を承認

市営住宅の家賃滞納者に対して、地方自治法（昭和22年法律第67号）第96条第1項第12号の規定により議会の議決を求め、訴えを提起するもの。

●令和7年度人吉市水道事業特別会計補正予算(第3号)を承認

・漏水修繕実績と状況

問 漏水の主な原因は何か。

答 埋設から数十年経過しており、保護砂不足や無理な曲げ配管が原因である。現在は対策を行っている。

・大畑配水池の電気計装設備落雷被害

問 落雷被害はいつごろ起きたのか。

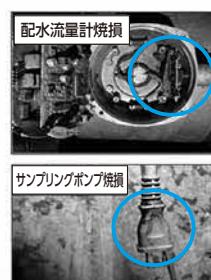
答 9月17日午後0時半から1時の間。

問 落雷被害は保険の対象となるのか。

答 落雷・凍結に起因する偶然な事故も保険の対象とされている。

問 説明資料の写真では焼損箇所が少ないように見えるがどこまで修繕するのか。

答 資料では焼損箇所だけを示しているが、目に見えない計器類にも被害が生じており、現在被害がない所も雷によるストレスが蓄積されている事から、今後不具合が出ないように全体的に修繕を行う。



動画視聴



落雷被害があった大畑配水池の計器類

復興・安全まちづくりに関する特別委員会

●委員長 牛塚 孝浩 ●副委員長 平田 清吉 ●委員 全議員

●芦北町防災監の橋本啓之氏を招いての自然災害に係る防災研修

- 問 地域住民が自主的に避難所を運営する組織、避難所運営委員会設置の進め方は。
- 答 小学校区ごとに避難所開設支援班を設置し、運営訓練等を通じて公助の限界や共助の重要性を共有する。
- 問 防災訓練に、多くの人々や若者が参加できる仕組みづくりは。
- 答 町内会の行事を圧迫しないように、清掃活動や家族で参加しやすいイベント(炊き出し訓練・食事会)等に併せて実施する。
- 問 日奈久断層地震への備えとは。
- 答 地域防災計画に反映し、独自の防災訓練を行い、継続的なPDC Aサイクルを回すこと



橋本防災監による説明

が重要である。

問 南海トラフ地震が発生した場合、県の協定に係る被災地に対する本市の対応とは。

答 熊本県は太平洋側の自治体を支援する立場にあり、本市は震度5強の発生が予想されるが、広域への応援がスムーズに運用されるように自己完結できる体制の構築が重要である。

●国道445号道路改築事業(山田川～(仮)上青井町交差点)の進捗

- 問 工期は。
- 答 令和10年度に着手予定だが、青井地区の区画整理事業を中心に、市道宝来村山線と交わる交差点区間を先に施工しており、進捗次第では遅くなる可能性もある。
- 問 道路拡幅工事の影響が出る南側の店舗などはどうなるのか、納得されているのか。
- 答 現段階では事業の説明にとどまっており、反対か賛成かは分からぬ状況である。

総務文教委員会（行政視察）

日 程：令和7年10月14日（火）～16日（木）

視察先：埼玉県鴻巣市

項 目：包括施設管理業務事業について

内 容：公共施設維持管理業務を民間に包括委託することで、管理水準の統一や安全性の確保、財源・技術職員不足等の課題の解決と事務の効率化を図り、従来事業者との協調体制の構築やDX化等を実現している点を学ぶことが目的です。

まとめ：本市でも取り組む必要性を強く感じました。事務削減等による業務効率化の費用対効果は高く、職員満足度も高い。適正な管理体制のため、職員の管理意識を共通化している点などを含め、専門職員の確保と財政負担とのバランスなど管理体制についての議論を深めたいと考えます。

視察先：埼玉県ふじみ野市

項 目：ふじみ野市文化施設整備事業について

内 容：ふじみ野市は市と町の2つが合併したため、同種の公共施設、その維持管理と財政負担が課題でした。施設の維持・建替え・新規整備・廃止・統合を検討し、事業効率化のためDBO方式（民間事業者に設計・建設・運営を一括委託する方式）での新規整備や指定管理者を活用した実績を学ぶことが目的です。視察1か所目は旧勤労福祉センターで市民活動・文化芸術の交流の場、2か所目は旧文化ホールと図書館を一体化し、文化芸術の振興、社会教育・生涯学習活動などコミュニティーゼンターの複合総合拠点です。

まとめ：市民のニーズと行政方針を反映し、市民の利活用と満足度の向上につながっています。本市にできる財政の確保と併せて、単なる改修に留まらず目的に合った機能向上を目指したいと考えます。



埼玉県ふじみ野市
「ふじみ野ステラ・ウエスト内ホール」

視察先：茨城県神栖市

項 目：体育施設整備事業（はさきマリンプール）について

内 容：学校プールの公営プールへの集約化を目指し、既存の公営プール2つでは市内全域をカバーできないため、新たに学校利用を前提として、それまで公営プールがなかった波崎地区に新設。同地域の中学校4校・小学校7校の学校連携の利用状況・建設運営について学ぶことが目的です。

まとめ：本市においては改修後10年程度の学校プールと古いものが混在している。プールの共用と移動方法・時間の確保と支援について多くの知見を得て、授業利用だけでなく公共施設・学校施設の市民との共同利用も含め、効率の高い施設利用を目指す学びとなりました。

厚生委員会（行政視察）

日 程：令和7年10月1日（水）～3日（金）

視察先：岩手県宮古市

項 目：再生エネルギー政策について

内 容：東日本大震災の際、エネルギー供給が長期間断たれたことで、「既存電力のみに頼らない自立型の電力供給体制の構築」、「災害時に必要なエネルギーを供給できる体制づくり」、「自然資源を活用した再生可能エネルギーの創出」の必要性が認識されたことを契機とし、取り組まれています。復興計画において、5つある「復興重点プロジェクト」のうちの一つとして位置づけられることも、施策の特徴です。

まとめ：エネルギーの地産地消による「地域内経済循環」の仕組みは、エネルギー事業の利益を市民へ還元できており、とても興味深いものでした。

項 目：脱炭素化へ向けた政策について



行政視察の様子（宮古市）

内 容：オンラインPPAにより、公共施設に再生エネルギー・蓄電池を導入し、施設の電力を貢う取組をさ

れています。また、市民ファンドや市民への普及啓発活動にも力を入れておられ、脱炭素化に向けて取り組める施策を展開されています。

まとめ：補助金等の支援を制度化するだけでなく、利用促進のための周知に力を入れておられることが、市民の環境に対する意識向上につながっていると感じました。

※「公共施設オンサイトPPA」とは、発電事業者が、公共施設内の屋根や敷地に太陽光発電設備を設置・所有・維持管理し、そこで発電した電力を供給する仕組み。

視察先：岩手県盛岡市

項 目：重層的支援体制整備事業について

内 容：福祉ニーズが複雑化・複合化する中、縦割りの分野別支援体制では対応が困難になっていることから、市全体の支援機関等が相談を断らずワンストップで受け止め、つながり続ける支援体制の構築を基本理念とし、令和4年から事業実施されています。「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施されました。

まとめ：複数の課題（生活困窮・障がい・高齢等）が複雑に絡んだ相談は本市でも増えてきているので、各機関の連携体制の構築、そして、交付金等についても国・県との十分な連携も欠かせないと改めて認識しました。

経済建設委員会（行政視察）

日 程：令和7年11月11日（火）～13日（木）

視察先：千葉県香取郡神崎町

項 目：スマート農業の取組について

内 容：千葉県神崎町では、平成4年から農地の区画整理事業を開始し、大規模水田輪作体系におけるスマート農業を取り入れた作物の収量向上と、軽労化コスト削減を目指した技術体系の確立を実証されておられます。遠隔水管理システムや、スマート農機具の導入経費とランニングコスト、行政からの補助や成果、課題などについて、圃場も含め幅広く視察を行いました。

まとめ：大区画圃場の整備を契機に発足した営農組合を基に、集約化された農地では主に水稻・小麦・大豆を生産されておられました。導入されたスマート農業機械は、自動運転トラクターをはじめGPS連動直線キープ田植え機、遠隔水管理システムやドローン等で、生産コストと作業時間の削減に加え、収量の増加を実現されていましたが、集約・集積された広大な農地にとっては有用であるが、狭窄地や山間地での導入にはスマート化への投資は難しいと感じました。



自動運転トラクターの試乗体験

視察先：茨城県稻敷市

項 目：スマート農業の取組について

内 容：茨城県稻敷市では、担い手の高齢化や後継者

不足、耕作放棄地の増加などから、農地の集積・集約化を実施し、スマート農業の必要性が高まったことから、茨城モデル水稻メガファーム事業において農地集約までの過程や事業に係る予算と実績、関係団体との連携・支援について視察を行いました。

まとめ：農地中間管理事業を活用した農地の集積・集約化を進める際、農地貸付協力金や農地集約化奨励金（農地交換）などに対し、市独自の補助金を交付されていました。結果的に3年間で100ha超の集積を達成し、現在は耕作者同士が農地交換の話合いを持たれているそうです。JA等の協力もあり、営農が大規模化・法人化する中で、スマート農業への補助額も毎年増加しているが、営農者にとってメンテナンス等のランニングコストが課題だと認識できました。また、スマート化には大規模な圃場整備が基盤となることを痛感した視察もありました。

視察先：茨城県つくば市農研機構

項 目：スマート農業の研究内容について

内 容：スマート農業技術導入の目的から、全国と熊本県内の実証プロジェクト実施について、中山間地で有効なスマート農業への取組事例、本市の概要や乾田直播稻作の可能性など幅広く講話いただきました。

まとめ：大型機械が入らない農地では、ドローンの活用や鳥獣害対策、ラジコン草刈り機、水管理システムなどが有効のようです。また、ドローンは共同利用も有用であることが分かりました。

一般質問

～市政を問う～

乾田直撮による稻作・耐震不足の水管橋



田中 哲



動画視聴

山田川の河川管理のあり方



村上 恵一



動画視聴

高齢者を詐欺被害から守る
対策を！



豊永 貞夫



動画視聴

問

農家の高齢化・担い手不足が進む中、育苗工程が不要で、中山間農地が多い人吉でも導入が容易であり、省力化が大幅に期待できる、乾田直撮の普及の検討は。

答

国も省力栽培技術導入の一つの手法として、直播栽培の推進を掲げている。収量を普通栽培と比較しても、さほど変わりないと認識している。今後JA作業部会の研究状況を注視し、本市の稻作に対応できると確認できたら、普及啓発、支援の方法を検討していく。

問

会計検査院から耐震不足と指摘された水管橋と、破損した場合の対応は。

答

県が管理する西瀬橋で、豪雨災害時のように排水管が被災しても、矢黒町からの複数系統で補えるよう管網を形成しており影響はない。

問

令和2年7月豪雨で、山田川は球磨川の水位上昇のバックウォーターにより甚大な被害が生じた。万江川と胸川は水位周知河川だが、山田川が指定されていない理由は何か。避難判断に直結するため、市独自に暫定的な水位基準を設ける考えはないのか。

答

山田川下流は球磨川の浸水想定区域に含まれ、球磨川の水位情報等で危険度把握が可能なため、現時点で個別指定の必要性は低いとの県の見解である。市は球磨川水位を基に早期避難判断を行い、河川監視カメラ等による情報提供を強化し、県と連携して安全な避難体制づくりに努めていく。

※山田川は、水位周知河川に指定されることが必要と思い、県との協議の場を要望した。

問

特殊詐欺の被害が増える中、通話録音機を高齢者世帯へ重点的に普及させるため、ふるさと納税を活用するなど、本市独自の対策を検討する考えはないか。

答

これまで広報や出前講座など啓発を続けていた。通話録音機を含めた被害防止対策について、関係機関と連携しながら検討していく。

不登校による健康診断未受診者をなくすため、本市はどのように体制づくりを進めるのか。教育委員会と福祉部局の連携強化について。

答

教育委員会と福祉部局が連携し、不登校対策会議や個別支援を通じて情報共有を進めている。今後も児童・生徒の状況に応じた柔軟な対応を続け、健診未受診の児童・生徒をなくす取組を推進していきたい。



↑一般質問・通告書はこちらから

※一般質問の録画映像もご覧いただけます。

一般質問 ~市政を問う~

町内街路灯電気料を公費に



大塚 則男



動画視聴

市道の草刈り管理・有害鳥獣被害対策



福屋 法晴



動画視聴

熱中症対策を兼ねた新たなまちづくり



牛塚 孝浩



動画視聴

問 市内の総世帯数に対し町内会加入世帯数は。

答 令和7年3月末現在、総世帯数1万5076世帯で、各町内会加入世帯数は1万2183世帯。

問 未加入世帯が2893世帯ある中、加入世帯数が減少し、特に小規模町内においては街路灯電気料が負担となっている。町内会未加入世帯も光に守られる街路灯だが、町内会加入世帯が電気料を負担している。市が負担すべきでは。

答 設置費用の全額を市が負担し、住民の初期負担をなくし地域防犯体制づくりに寄与してきた。防犯灯の費用を一部の住民だけが負担し、町内会未加入者は負担しない現状は、不公平さの課題と認識している。持続可能な町内会活動のため、総合的に検討していく。

問 有害鳥獣駆除活動に当たり、作動確認ができる機器購入の助成は。

答 人吉市有害鳥獣被害対策協議会において申請・採択されることで、協議会で購入し、実施隊員に貸与することが可能である。

問 市道の草刈り作業の委託先は。

答 シルバー人材センターに市道42路線の草刈り業務を委託している。

問 草刈り作業で出た草が片付けられていない路線があるが、片付けまでの予算確保が必要では。

答 できる限り集草処分を行う作業路線を拡充できるよう、予算確保に努めていきたい。

問 狩猟期にイノシシを捕獲報償費の対象とすることは。

答 駆除頭数を増やすことは、効率的な対策であると認識している。関係機関と協議し対応していく。

答 熱中症対策の上でも非常に重要であり、有用性は十分認識しているが、初期費用やランニングコスト面での課題があり、持続可能な運用には慎重な検討が必要。昨年開設した涼み処では、冷水を提供頂いている事業所もあるため、引き続き協力をお願ひする。またにぎわい創出にも有用なので、福祉・経済・環境など、多方面にわたる政策として検討していきたい。

※他、薩摩瀬地区・下林町・温泉町の今後について、物価高騰対策、宿泊税導入について質した。

一般質問～市政を問う～

多様な世代の居場所を
まちなかに！



徳川 穎郁



動画視聴

夏目友人帳の聖地「天狗橋」
周辺の整備



平田 清吉



動画視聴

学校での水泳授業及びプールの
あり方



西 信八郎



動画視聴

問 市街地に人が集い滞在し、自然に交流が生まれる居場所を設け、賑わいを育てるため、図書館機能と「人吉元気くらぶ」等、多様な世代の居場所を一体的に整備していく必要についての本市の考えは。

答 中心市街地の一角にどのような複合的な空間を作り出していくかが行政に課せられた喫緊の重要課題と認識している。既存の図書館のあり方や、「人吉元気くらぶ」などの活動も総合的に勘案し復興まちづくりにおける交流・文化の場にふさわしい居場所づくりについて、社会実験の検証結果を踏まえ運営体制の面も含め、公民連携の視点で速やかに判断していく。

※他、中川原公園の整備、移動式トイレの利便性向上について質した。

問 アニメ夏目友人帳の聖地の一つとされる「天狗橋」の両岸に、観光用の駐車場整備はできないか。

答 天狗橋周辺の駐車場整備について、現在、橋の周辺には駐車場としての適地がない。観光客の利用状況等を調査しながら、適地の確保等を検討していきたい。

問 大柿地区側から聖地「天狗橋」を眺望するには、傷んでいる日常生活用道路を利用する必要はない。観光客のためにも、道路整備が必要と思うが、対応は考えているか。

答 技本的な舗装の更新が必要なことは認識している。今後、遊水地整備工事が本格化することから、地域内で多くの工事車両の通行が見込まれる。工事の進捗や車両動線、利用状況等の変化を確認しながら、適切な時期に対応したい。

学校の水泳授業は、プール施設や教員への負担などの課題はあるが、児童・生徒の体力維持や水難事故防止のため、大切な学習である。学校プールは、学校施設と一体的に活用するため、「人吉市立学校のあり方検討委員会」の動向を見据えながら検討する。市民プールは遊泳環境や健康の維持増進等のための環境を確保する具体的な検討が必要。全天候型のプールの新設は、熱中症対策や年間を通しての利用が見込まれ、子ども達を含めた市民の皆さんの健康増進に寄与できるが、多額の建設費用が伴う。「人吉市市民プール検討委員会」の答申に加え、両検討委員会の意見と一体的に検討する。



↑一般質問・通告書はこちらから

※一般質問の録画映像もご覧いただけます。

一般質問～市政を問う～

物価高騰対策と豪雨対策



川上 紗智子



動画視聴



松村 太



動画視聴

支える人を支える取組
まちづくりとなりやすい

問 今後の物価高騰対策は。

答 国の食料品高騰に対する支援があるので、食料品購入等を支援する施策の実施を考えている。

問 国に対して消費税減税を要望するべきではないか。

答 消費税の一部は、地方に交付されている。仮に消費税減税が実施されると、福祉や教育、インフラ整備等の事業ができなくなる恐れがある。地方自治体から減税について声をあげることは控えたい。

問 大柿地区で遊水地対象でない区域の治水対策は。

答 球磨川水系流域治水プロジェクトの実施で、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、大柿地区を含めた人吉地域において、越水による氾濫防止など浸水被害の軽減を図れると認識している。

問 健康推進員の活動状況は。

答 各校区で健康意識の輪を広げる重要な役割を担い、健康づくりの推進役にご尽力いただいている。

問 地域福祉の役割の高まりにどう対応していくのか。

答 各関係者が連携し、地域全体で支える体制の強化と地域住民が共に支え合える互助の環境を育てることが重要。

問 地域福祉の活動環境の改善策は。

答 地域で支えていただいている皆様の声を丁寧に伺いながら、組織改善・活動環境充実に必要な支援のあり方について検討していく。

問 まちづくりにかける思いは。

答 やりたいこと、長所を生かすことができる仕組みづくり。球磨川と共に生きるまちの創造を市民一丸となつて力強く進めていく。

「人吉市中学生みらい議会」を開催しました

人吉市議会では、未来を担う子供たちが、本市が直面する様々な課題やまちづくり、市民生活と行政との関わりについて学び、未来の人吉市について考える機会とする「人吉市中学生みらい議会」を、人吉市教育委員会と共に10月31日（金）に開催しました。

中学生18人（9組）が議員となり、3人で議長を務め、「人吉市の未来を考える」をテーマに、「ふるさと」に対する熱い思いとともに、執行部に提言・提案を行い、すばらしい中学生みらい議会となりました。



(市提供)

議員研修会

議員の資質向上を図るため、令和7年11月7日（金）にくまもと経済の宮崎泰樹氏（議会広報アドバイザー）をお招きし、「議会改革の一歩は広報紙改革から～広報の役割と先進地の事例～」と題し、議会広報の役割、「ひとよし市議会だより」の改善点、先進地の事例、各議会改革取組等の研修を行いました。

宮崎氏には「議会広報アドバイザー」として議会広報作成における助言等をいただきながら、今後の議会広報を作成してまいりますので、皆様に「ひとよし市議会だより」を通して、議会の情報を分かりやすく発信していきます！



宮崎氏による講演の様子

各種団体との

意見交換会



人吉市町内会長連合会

令和7年11月6日（木）に人吉市町内会長連合会の役員8名の方にご参加いただき、意見交換会を行いました。

高齢化と生活支援、防犯灯・街灯の負担と維持、ごみ集積場、消防団の運営・再編、避難所整備や道路復旧など、地域運営の実務課題と制度的支援をテーマに、長時間にわたり活発に意見を交換しました。

議会としては、総務文教・厚生・経済建設の各委員会での検討、担当課との連携、実態調査の実施など、前向きな姿勢で取り組んでいくことを申し合わせました。



町内会長との意見交換会

錦町議会

令和7年11月20日（木）に錦町議会から10名の議員が来庁され、「人吉球磨の連携について」をテーマに意見交換を行いました。

観光面での連携では、隣接する市町村で共同でのイベント開催や、お土産の商品開発などの意見がありました。

また、医療機関の充実や鳥獣被害対策、環境整備、鉄道の復旧・復興についての活発な意見が出ました。

人吉球磨が一体となって、お互いに情報を共有しながら、それぞれが抱える問題を一緒に考えていく、大変重要な機会となりました。



錦町議会との意見交換会

・・・令和7年12月定例会の議案等の議決結果・・・

番号	件名	議決結果	番号	件名	議決結果
議第75号	令和6年度 人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	議第94号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議第76号	令和6年度 人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	議第95号	訴えの提起について	原案可決
議第85号	令和6年度 人吉市歳入歳出決算認定について	原案認定	議第96号	訴えの提起について	原案可決
議第86号	令和7年度 人吉市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	議第97号	訴えの提起について	原案可決
議第87号	令和7年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第98号	訴えの提起について	原案可決
議第88号	令和7年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第99号	令和7年度 人吉市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議第89号	令和7年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第100号	令和7年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第90号	人吉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第101号	令和7年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第91号	人吉市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決	議第102号	令和7年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議第92号	人吉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び人吉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第103号	令和7年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
			議第104号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第93号	人吉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	議第105号	人吉市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
			議第106号	人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

・・・令和7年12月定例会の請願の議決結果・・・

番号	付託委員会	件名	議決結果
請第2号	厚生委員会	人吉球磨准看護学院へのさらなる支援を求める請願	不採択

議員別表決

「表決が割れた」議案とその議員別表決

賛否が分かれたものののみを掲載しております。

議案 番号	件名	議員氏名	川上	松村	徳川	池田	牛塚	宮崎	大塚	平田	井上	豊永	西	村上	田中	福屋	宮原
			紗智子	太	禎郁	芳隆	孝浩	保	則男	清吉	光浩	貞夫	信八郎	恵一	哲	法晴	将志
議第85号	令和6年度 人吉市歳入歳出決算認定について		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第99号	令和7年度 人吉市一般会計補正予算（第6号）		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第104号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第105号	人吉市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請第2号	人吉球磨看護学院へのさらなる支援を求める請願		○	●	●	●	●	●	●	○	●	○	●	○	○	●	●

○：議案に対して賛成

●：議案に対して反対

／：議長は表決に加わりません

令和6年度歳入歳出決算を認定

令和6年度の決算を審査するために、令和7年9月定期例会で決算特別委員会を設置し、継続審査となっていましたが、その後閉会中を含め4回にわたり慎重に審査を行いました。

11月25日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果についての報告を行い、歳入歳出決算については賛成多数で認定されました。

令和6年度 水道事業特別会計利益の処分及び決算・ 公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算を認定

令和6年度水道事業特別会計・公共下水道事業特別会計の利益の処分及び決算を審査するために、令和7年9月定例会で経済建設委員会に付託され継続審査となっていましたが、その後閉会中に3回にわたり慎重に審査を行いました。

11月25日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果についての報告を行い、利益の処分及び決算については、全会一致で可決及び認定されました。

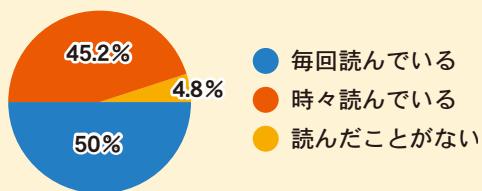
こんにちは 人吉市議会です！

in 人吉温泉まつり

人吉温泉まつり会場において、人吉市議会としての初めての試みとして、市議会ブースを出展し、議会だよりの展示や、各委員会の活動報告等の掲示を行いました。

また、来場された方にアンケートを行いましたので、その結果を報告します。頂いたご意見は、今後の議会活動の参考にさせていただきます。

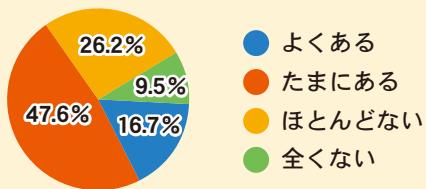
◆人吉市議会だよりを読まれていますか？



◆開かれた議会を目指し、YouTube、facebook等による情報発信をしていますが、ご覧になったことはありますか？



◆市議会や議員に対して意見や要望を伝える機会はありますか？



◆まつり会場での広報活動に取り組みました。感想をお聞かせください。

- 多くの人に知ってもらえる機会だと思った。
- 普通、議員と会うことが少ないので、このような取組はいいと思う。
- こんな目に見える活動も必要。話すきっかけにもなる。
- 広報・PRが少なかった。知っている人が少ない。
- 顔が見える関係が相互理解の第一歩だと思います。
- 市民との交流の機会が増えることは良い。
- 気軽にお話できました。



暦の上では春もすぐそこまで来ています。球磨川くだりでは、卒業を間近に控えた高校生が「こたつ舟」に乗船し、歓声を上げていきました。故郷での体験と景色を、忘れないでほしいと願います。

今年度は、10月の「人吉温泉まつり」で市議会として初出展し、多くの市民の皆様のお声を頂戴しました。また、1月から2月には「議会報告会及び意見交換会」を2回開催し、「高校生との意見交換会」を、広い世代の方から、様々なご意見・ご要望をお聴かせいただきました。大変貴重で有意義な機会です。これからも、市民の皆さんに寄り添い、身近で開かれた議会を目指します。

編集後記

次の定例会は
2月24日開会の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／宮原 将志 副委員長／福屋 法晴
委員／川上 紗智子・松村 太・徳川 穎郁・池田 芳隆・牛塚 孝浩・豊永 貞夫